
バカと3-Zと坂田銀八

弥浦涼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカと3-Zと坂田銀八

【Nコード】

N3844Z

【作者名】

弥浦涼

【あらすじ】

文月学園に3-Zが転校？銀八先生や新八たちと明久たちはどうやって馴染んでいくのか……。

第一問

「交換留学生？」

朝学校に来たら、雄二や秀吉たちからそんなことを聞いた。

「忘れたのか？ 一昨日鉄人が話してたじゃないか」

「仕方ないわよ。アキはその時機に突っ伏してたんだから」

「……………いつものこと」

おい、僕の名誉はどこへ行った。みんな、探してくれないか？

「まあ、そんなことは気にすることではあるまい。問題はどんな者たちが転校してくるかと言うことじゃ」

「そうですね、それは私も楽しみです」

姫路さんが笑顔で同意する。やっぱり癒されるなあ……。

「……………ってあれ？ 『者たち』 ってことは、転校してくるのは一人じゃないってこと？」

「ああそうだ。詳しい人数は聞いてないが、同じ高校から何人かがウチに入ってくるらしい。ウチからは根本、小山、平賀の三代表が交換に出されるらしい」

「へえ。じゃあ二、三人が新しく入ってくるってことか」

「……………そういうこと」

ガラララッ

「おい、お前ら席につけ。ホームルーム始めるぞ」

鉄人の怒声とともに散り散りに座る。朝から大目玉なんて最悪のパターンは避けなきゃいけない。

「えー、今日から入ってくる交換留学生について話す」

『『『女子?』『』』』

それ以外に興味?　さらさらないね。

「ああ、女子もいる」

『『『ブラアボォッ!!』『』』』

叫び出す奴。踊り出す奴。撮影のためにカメラを磨くムツツリ
ー。

「まず人数を発表しようと思う。えー、転出三名」

うん、さっき聞いたし問題ないよね。

「転入二十名」

問題あり。

「先生、桁が間違っていますか?」

どう考えても十七人差は誤差の範囲とは思えない。

「いや、書類上問題もない。それに――」

「「それに？」」

「実際に来ているしな」

ねえ、誰か日本語で会話しないかい？ そんな無鉄砲な高校があるわけがないじゃない。

「ま、俺たちは明久みたいなバカじゃなきゃ誰でもいいんだけどな」
「全くもって同意ね」

「デメエやるか雄二ィッ！」

ちなみに、美波を相手にしなかったのは僕が女性に優しいからだ。けっして挑む前から諦めた訳じゃないからねっ。

ガラララッ

「うるせーぞおめーら！ 転校早々ここは動物園ですかコノヤロー」

拳を引っ込めて声のしたほうを見た。声の主は、銀髪の天然パーマが印象的な、気だるそうな白衣の教師（？）だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3844z/>

バカと3-Zと坂田銀八

2011年12月13日00時59分発行